

FortiOS / FortiProxy - 管理インターフェイスのヒープバッファアンダーフローについて

Fortinet 社の PSIRT (Product Security Incident Response Team) より Critical として、以下の情報が公開されましたので、以下の通りご報告させていただきます。

概要：

FortiOS および FortiProxy 管理インターフェイスのバッファアンダーライト（「バッファアンダーフロー」）の脆弱性により、リモートの認証されていない攻撃者が、特別に細工されたリクエストを介して、デバイスで任意のコードを実行したり、GUI で DoS を実行したりできる可能性があります。

CVE ID：

CVE-2023-25610

影響：

サービス拒否

Exploitation Status:

フォーティネットは、この脆弱性が実際に悪用された事例を認識していません。当社は製品のセキュリティを継続的に見直し、テストしており、この脆弱性はそのフレーム内で内部的に発見されました。

影響を受ける製品：

FortiOS バージョン 7.2.0 ～ 7.2.3

FortiOS バージョン 7.0.0 ～ 7.0.9

FortiOS バージョン 6.4.0 ～ 6.4.11

FortiOS バージョン 6.2.0 ～ 6.2.12

FortiOS 6.0 すべてのバージョン

FortiProxy バージョン 7.2.0 ～ 7.2.2

FortiProxy バージョン 7.0.0 から 7.0.8

FortiProxy バージョン 2.0.0 から 2.0.11

FortiProxy 1.2 すべてのバージョン

FortiProxy 1.1 すべてのバージョン

ソリューション :

FortiOS バージョン 7.4.0 以降にアップグレードしてください。
FortiOS バージョン 7.2.4 以降にアップグレードしてください。
FortiOS バージョン 7.0.10 以降にアップグレードしてください。
FortiOS バージョン 6.4.12 以降にアップグレードしてください。
FortiOS バージョン 6.2.13 以降にアップグレードしてください。
FortiProxy バージョン 7.2.3 以降にアップグレードしてください。
FortiProxy バージョン 7.0.9 以降にアップグレードしてください。
FortiProxy バージョン 2.0.12 以降にアップグレードしてください。
FortiOS-6K7K バージョン 7.0.10 以降にアップグレードしてください。
FortiOS-6K7K バージョン 6.4.12 以降にアップグレードしてください。
FortiOS-6K7K バージョン 6.2.13 以降にアップグレードしてください。

なお、影響のあるFortiOS バージョンを利用している場合でも、以下にリストされているハードウェアデバイスは、問題の DoS のみの影響を受け、任意のコードの実行による影響を受けません。(リストされていないデバイスは両方に対して脆弱です):

FortiGateRugged-100C
FortiGate-100D
FortiGate-200C
FortiGate-200D
FortiGate-300C
FortiGate-3600A
FortiGate-5001FA2
FortiGate-5002FB2
FortiGate-60D
FortiGate-620B
FortiGate-621B
FortiGate-60D-POE
FortiWiFi-60D
FortiWiFi-60D-POE
FortiGate-300C-Gen2
FortiGate-300C-DC-Gen2
FortiGate-300C-LENC-Gen2
FortiWiFi-60D-3G4G-VZW
FortiGate-60DH
FortiWiFi-60DH
FortiGateRugged-60D
FortiGate-VM01-Hyper-V
FortiGate-VM01-KVM
FortiWiFi-60D-I

FortiGate-60D-Gen2
FortiWiFi-60D-J
FortiGate-60D-3G4G-VZW
FortiWifi-60D-Gen2
FortiWifi-60D-Gen2-J
FortiWiFi-60D-T
FortiGateRugged-90D
FortiWifi-60D-Gen2-U
FortiGate-50E
FortiWiFi-50E
FortiGate-51E
FortiWiFi-51E
FortiWiFi-50E-2R
FortiGate-52E
FortiGate-40F
FortiWiFi-40F
FortiGate-40F-3G4G
FortiWiFi-40F-3G4G
FortiGate-40F-3G4G-NA
FortiGate-40F-3G4G-EA
FortiGate-40F-3G4G-JP
FortiWiFi-40F-3G4G-NA
FortiWiFi-40F-3G4G-EA
FortiWiFi-40F-3G4G-JP
FortiGate-40F-Gen2
FortiWiFi-40F-Gen2

回避策:

HTTP/HTTPS 管理インターフェースを無効にする
または、
管理インターフェースに到達できる IP アドレスを制限します。

```
config firewall address
edit "my_allowed_addresses"
set subnet <MY IP> <MY SUBNET>
end
```

次に、アドレス グループを作成します。

```
config firewall addrgrp
edit "MGMT_IPs"
set member "my_allowed_addresses"
end
```

Local-in-Policyを作成して、管理インターフェイス（ここではポート 1）の事前定義されたグループへのアクセスのみに制限します。

```
config firewall local-in-policy
edit 1
set intf port1
set srcaddr "MGMT_IPs"
set dstaddr "all"
set action accept
set service HTTPS HTTP
set schedule "always"
set status enable
next
edit 2
set intf "any"
set srcaddr "all"
set dstaddr "all"
set action deny
set service HTTPS HTTP
set schedule "always"
set status enable
end
```

デフォルト以外のポートを使用している場合は、GUI 管理アクセス用の適切なサービスオブジェクトを作成します。

```
config firewall service custom
edit GUI_HTTPS
set tcp-portrange <admin-sport>
next
edit GUI_HTTP
set tcp-portrange <admin-port>
end
```

HA 管理インターフェイスを使用している場合、local-in-Policyを少し異なる方法で設定する必要があります。以下をご参考ください。

URL :

<https://community.fortinet.com/t5/FortiGate/Technical-Tip-How-to-configure-a-local-in-policy-on-a-HA/ta-p/222005>

URL :

<https://www.fortiguard.com/psirt/FG-IR-23-001>

以上